

「青少年ハム活性化運用」報告と考察（2006.3.25）

7 K 4 Q C Q 森下 貴司

ごめんなさい。車のパンク騒ぎで書けませんでした m(____)m

来年の総会では2年分の報告と考察をご報告します。

・・・ですが、提案（要望）事項が2つ。もちろん、この総会で「誰が担当」と決定するのではなく、「立候補方式（後日でも可）」が良いと思います。

1. どなたか、CW（A1A）での「青少年活性化運用」をお願いします。

SSB に比べれば需要は低いかも知れませんが、需要はあるはず。でも、（2アマのくせに）森下、CW、全然出来ないんです。宜しくお願いします。

2. 「青少年ハム活性化運用」は、森下の「専売特許」ではありません。

お時間の許す方（きっとこれが一番のネックなんだろうなあ）、是非、ML で予告の上、運用をお願いします。部員達が「初交信」あるいは「HF デビュー」することに貢献している自負はありますが、しかし森下の一身上の理由で急遽中止になってしまったりということもありました。さらに、学校の事情によっては、森下の「運用可能な日」と部の「活動可能な日」が重ならないことも考えられますし、ローカルスキップ等で「どうしても繋がらない」学校もあります。

無論、理想は「継続的に」運用することでしょうが、「単発」でも結構です。（時間以外に）難しいことはありません。「CQ ヤングハム」で、我々の生徒をはじめ青少年に交信の機会を提供すること、一般（おじさん・おばさん(笑)）局と交信して我々の活動や高校生を中心としたヤングハムの活動の PR をすること、この2点を普通の交信に追加するだけです。

・12回の運用を終えて（「考察」の最後に書こうと思っていたことの一部）

平成 18 年度は、幸か不幸かはともかく、森下が「青少年ハム活性化運用」を継続できますが、ゆくゆくは生徒達による、「学校を越えて先輩が後輩を指導する」ような、「青少年による定期的な『青少年ハム活性化運用』」と、我々のなかで時間の許すメンバーによる「青少年ハム活性化運用」の2本立てにしたいですね。

夏期の 21.180MHz（付近）を 21.195MHz ほかの通称「DX スポット」の様に「青少年スポット」として（悪い意味ではなく良い意味で）定着させましょう！！

以上